

SDGs ~ 私たちにできることは？

SDGs (持続可能な開発目標) のうち環境や資源に対する取り組みは、生活の些細なことから誰でも始められます。無理をせず、楽しみながら行うことが着実に続けるコツ。生活の工夫や環境にやさしい「みつろうラップ」について、福岡友の会会員の丸山千絵さんに教えてもらいました。



SDGs ってなんだろう？

SDGsとは、2030年までに持続可能でより良い世界を目指すために、17のゴール、169のターゲットで構成された国際目標。その中には「つくる責任つかう責任」「海の豊かさを守ろう」「気候変動に具体的な対策を」など、資源や環境に対するものも。世界中に問題が山積する中、1人1人の取り組みが求められています。

家庭でできる「脱・プラごみ」

大きな課題となっているプラスチックごみ削減。何気なく排出している家庭のプラごみは、少しの工夫で減らせます。例えば、「洗濯ばさみは日光で劣化して砕けてしまうので、毎回室内に取り込むかステンレス製に換える」「アクリルたわしはマイクロプラスチックの原因になるので、へちまや麻布、タコ糸で作った自然由来のスポンジを使う」など。生活の中でできることを楽しみながら見つけてみましょう。



注目のエコグッズ「みつろうラップ」



みつろう(蜜蝋)を木綿の布にしみこませて作る「みつろうラップ」。通気性や抗菌作用に優れた注目のエコグッズです。冷蔵庫に保存する際に包むと長持ちするほか、パンのバサつきを防げるのでサンドウィッチの持ち運びにもぴったり。手で温めると柔らかくなり、冷えると固まる性質を生かして形を付け、皿や蓋として使えます。

作り方は簡単。好きな布で、好きな形に作れて便利です。使用頻度にもよりますが、半年～1年程度、洗って繰り返し使えます。

一方で、蝋が溶けるので熱いものは冷まして包む必要があり、電子レンジでは使えません。お湯で洗えないので魚、肉、揚げ物もNG。利便さでは使い捨てのものに軍配が上がるかもしれませんが、みつろうラップを使うことで意識が変わるはず。何より、見た目がかわいらしく、キッチンが華やきますよ！

臨海3Rステーションでも「みつろうラップ作りワークショップ」を開催しています(下の写真は過去の様子。今後の開催日程はホームページ等でお知らせします)。



材料
木綿布 25cm角…1枚
みつろうチップ…15g
ホホバオイル…5ml
※食用油でもOK

作り方
アイロン台の上にクッキングシート、木綿布の順に置く。みつろうとホホバオイルを混ぜて木綿布の上に置き、上からクッキングシートをかぶせて挟む。中温程度のアイロンをかけ、みつろうを溶かして布に蝋がけをする。乾かして完成。

※蝋が漏れるとアイロンに付くので、クッキングシートは大きめに。



「リペアフェア」が開催されました

臨海3Rステーションで11月22日に行われた「リペアフェア」の様子をレポート。通常は、別々の日、場所で行われているリペアの技が集結。ボランティアスタッフが実演を行い、修理やお直しをして長く使う暮らしを提案しました。熱心に質問する来館者と、実践的なアドバイスを送るスタッフの姿が印象的でした！

3F

「包丁とき」(毎月開催)の実演では、砥石の上に10円玉を重ねて刃の角度を確認。微妙な強弱を説明しながらピカピカにといでいきます。砥石や包丁の選び方のアドバイスも。講座ではとき方を習った後に実践を繰り返して覚えていくそうです。

ミシンコーナーでは、お直ししたい洋服を広げて作りたいものをスタッフに相談した後、ズボンの裾上げや幅詰めにも挑戦しました。

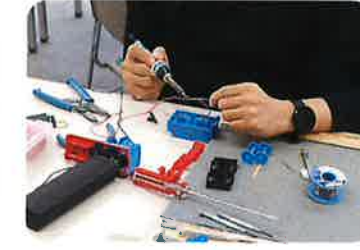


「使いやすいリメイクすることで衣類や雑貨の寿命が延びます」とスタッフ・志岐静香さん



「よく切れる期間が伸びるので、気持ちよく料理できますよ」とスタッフ・城後澪さん

動かなくてもすぐに捨てずに
ぜひお持ちください！



おもちゃの病院
「お医者さん」
坂本英明さん

2F

電池を使うおもちゃが多く持ち込まれていた「おもちゃの病院」(毎月開催)。ものづくりが得意な「お医者さん」たちがギアを交換し、断線箇所をつないで治療していきます。古いおもちゃの修理や、動くぬいぐるみの「骨折」治療などに必要な、多数の部品がストックされていました。

「愛着を持って丁寧に使う大切さを伝えたい」と活動中。3～4割のおもちゃは1～2時間で修理できるそうです。小さいお子さんからのお礼のお手紙に感謝することもあります。



「座面を張り替えると椅子が生まれ変わりますよ！」とスタッフ・山中京子さん



「講座では傘が壊れにくいさし方も伝えています」とスタッフ・追鳥幸男さん

1F

「椅子の張り替え」(不定期開催)では、来館者自ら工具や材料などを手に取り、仮止めを体験。初心者におすすめの布地や、衣類を使うときの注意点など、アドバイスに聞き入っていました。

「傘の修理」(毎月開催)はよく折れる箇所を自分で修理できるように丁寧に教えながら直します。傘の修理ができる場所は少なく、貴重な存在です。

講座は毎月実施中！

講座名	日程	申し込み方法
傘の修理	月2回	実施月の最初の開館日から、電話、来館で予約受け付け(先着順)
木製のまな板削り	月2回	
おもちゃの病院	第4日曜日	往復はがき、FAX、HP、来館で申し込み(抽選)
包丁とき	月1回	

詳細は市政だよりやHPで確認を。
「椅子の張り替え」、裁縫やクッキング、雑貨作りなどの講座も不定期で実施しています。

修理して長く使えば、
ごみ減量にもつながるね

